

LAC → B ←
supports your business

*We provide IT total solutions
based on advanced security technologies.*



2019年3月期 第3四半期決算説明資料

2019年2月5日

株式会社ラック

1. 2019年3月期 第3四半期決算概要

2. 2019年3月期 連結業績予想

3. 補足資料

売上高は微増、SSS事業のサービス売上の伸長などにより大幅増益

（百万円）

科目	'18年3月期 3Q累計実績	'19年3月期 3Q累計実績	前年同期比増減	
			差異	率(%)
売上高	26,786	26,795	+9	+0.0
営業利益	755	1,111	+355	+47.1
営業利益率%	2.8	4.1	+1.3p	-
経常利益	811	1,109	+298	+36.7
経常利益率%	3.0	4.1	+1.1p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	421	648	+226	+53.7

（注）第1四半期連結累計期間より、2018年4月2日に連結子会社化した株式会社アジアリンクを連結業績に組み入れております。

増減ポイント

【売上高】

- ・ SSS事業の増収 +1,976
(コンサルティングを除く各サブセグメントで増収)
- ・ SIS事業の減収 △1,967
(全サブセグメントで減収)

【営業利益】

- SSS事業のサービス売上伸長により増益
- ・ 売上原価の減少 +833
- ・ 販管費の増加 △486

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

- ・ 経常利益の増加 +298
- 持分法による投資利益の減少 △70
 - 持分法適用関連会社株式の一部売却による投資有価証券売却益 +39

SSS事業は大幅に増収増益、SIS事業は減収増益

（百万円）

売上高	'18年3月期 3Q累計実績	'19年3月期 3Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューション サービス (SSS) 事業※	8,425	10,401	+1,976	+23.5
システムインテグレーション サービス (SIS) 事業	18,361	16,393	△1,967	△10.7
合計	26,786	26,795	+9	+0.0

（百万円）

セグメント利益	'18年3月期 3Q累計実績	'19年3月期 3Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューション サービス (SSS) 事業※	994	1,512	+518	+52.1
システムインテグレーション サービス (SIS) 事業	1,680	1,891	+210	+12.5
全社共通費用	△1,919	△2,292	△373	-
合計	755	1,111	+355	+47.1

※第1四半期連結累計期間より、株式会社アジアリンクの業績が組み入れられております。

診断、運用監視を中心に大幅増収、利益も大幅に伸長

●コンサルティングサービス

産業制御システム向け案件等のサービスは伸長したものの、事故対応を契機とした案件は減少

●診断サービス

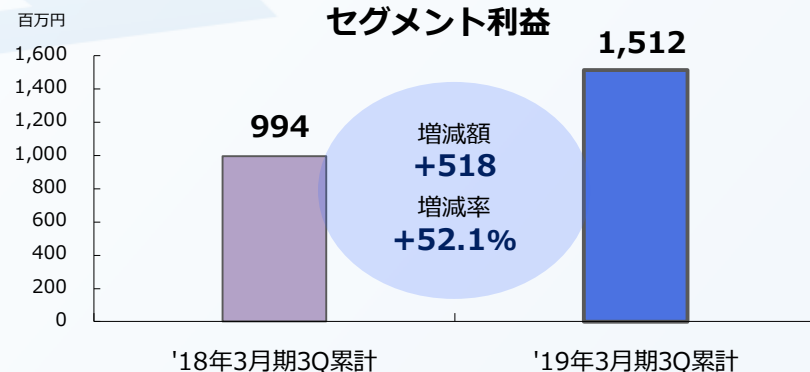
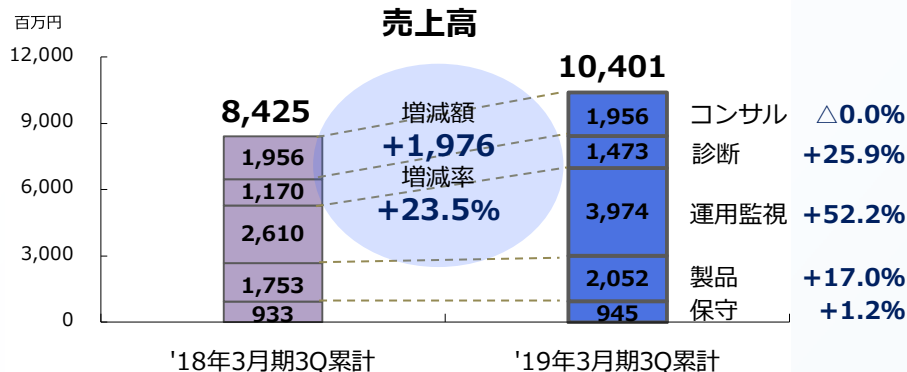
主力のWebアプリケーション診断や、スマートフォンアプリケーション診断が好調

●運用監視サービス

株式会社アジアリンクの組み入れ、前第3四半期から開始した中部地域大手製造業向け運用監視サービスの売上拡大により伸長。既存案件の契約更新が堅調

●製品販売

サービス妨害型攻撃に対応した製品等の販売が拡大



HW/SW販売が低調に推移し減収、のれん償却額負担減等もあり増益

●開発サービス

旅行業や人材派遣業など銀行業以外の案件は好調に推移したものの、中核であった大手銀行業向けが大幅減、株式会社日本貿易保険向け案件等の仕掛が増加

●HW/SW販売

クラウドサービスの急拡大などによって想定した以上に需要が縮小したことにより大幅減収

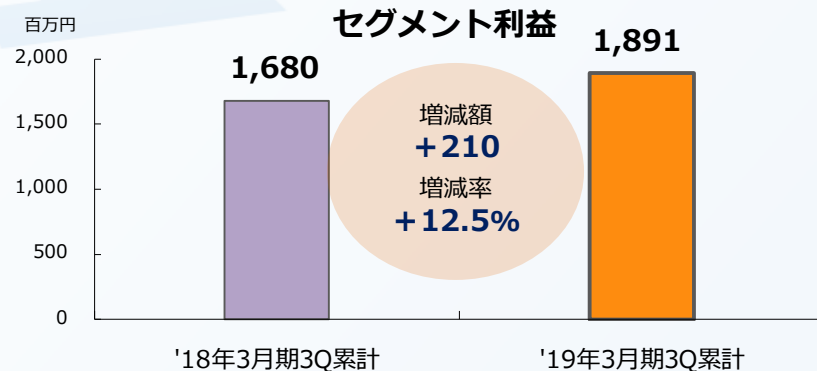
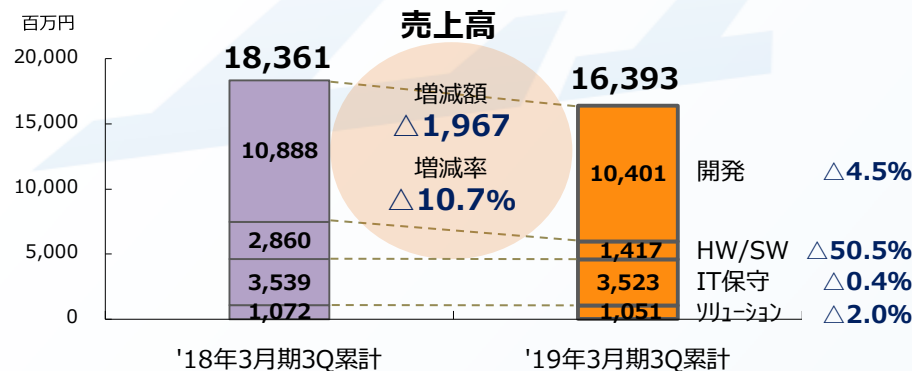
●IT保守サービス

前期のHW/SW販売が低調であったことにより減収

●ソリューションサービス

アプリケーションパフォーマンス管理ソリューションの売上減により減収

セグメント利益は、のれん償却額負担減など販管費の減もあり増益



連結貸借対照表ハイライト（前期末比）

十分な資金を保持しつつ、引き続き安定した財務基盤を維持

（百万円）

科目	‘18年3月期末	‘19年3月期 3Q末	前期末比 増減
資産合計	19,909	21,008	+1,098
流動資産	14,641	15,076	+434
固定資産	5,268	5,931	+663
負債合計	9,817	10,603	+785
流動負債	9,624	10,411	+786
固定負債	193	192	△1
純資産合計	10,092	10,404	+312
現預金	5,103	4,536	△566
有利子負債	739	2,927	+2,187
自己資本比率	50.7%	49.5%	△1.2p

増減ポイント

資産

【流動資産】

・仕掛品の増加	+1,389
・前払費用の増加	+920
・受取手形及び売掛金の減少	△1,726
・現金及び預金の減少	△566

【固定資産】

・のれんの増加	+515
---------	------

負債

【流動負債】

・短期借入金の増加	+2,490
・買掛金の減少	△816
・未払法人税等の減少	△454
・1年内返済予定の長期借入金の減少	△267

純資産

【純資産】

・資本剰余金の増加	+191
・利益剰余金の増加	+78
・自己株式の減少	+49

1. 2019年3月期 第3四半期決算概要

2. 2019年3月期 連結業績予想

3. 補足資料

**連結業績予想に関しては、株式会社日本貿易保険との
契約も含め、引き続き精査中です。**

修正が必要な場合には判明次第、改めて開示いたします。

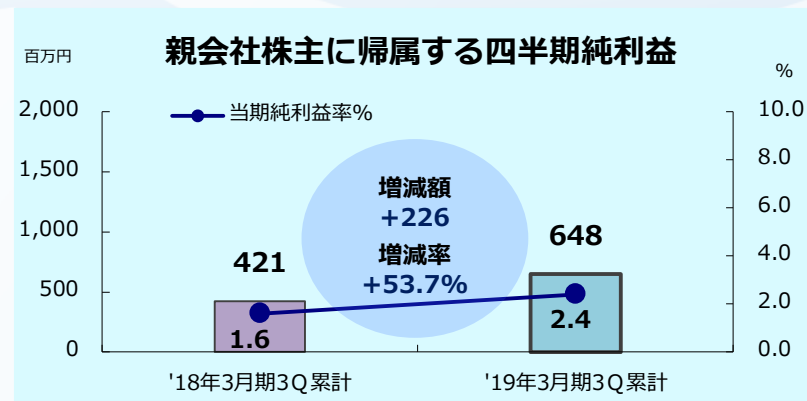
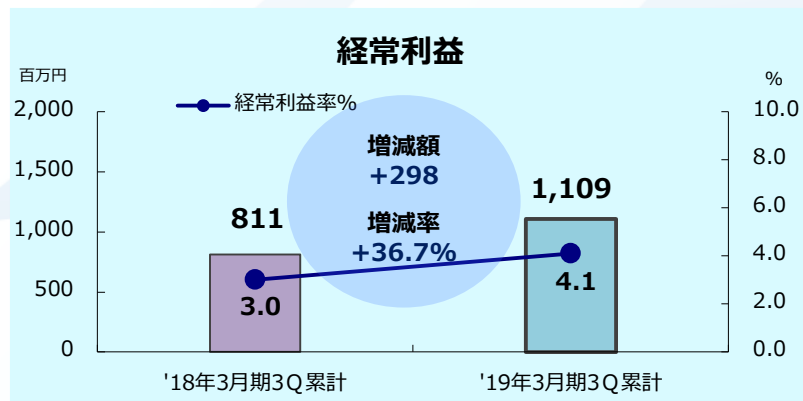
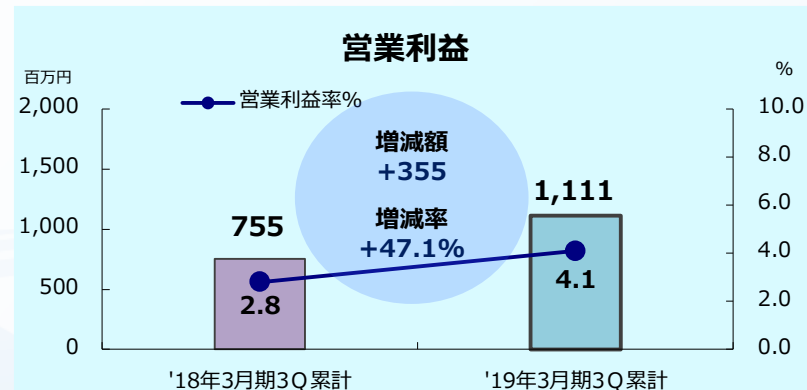
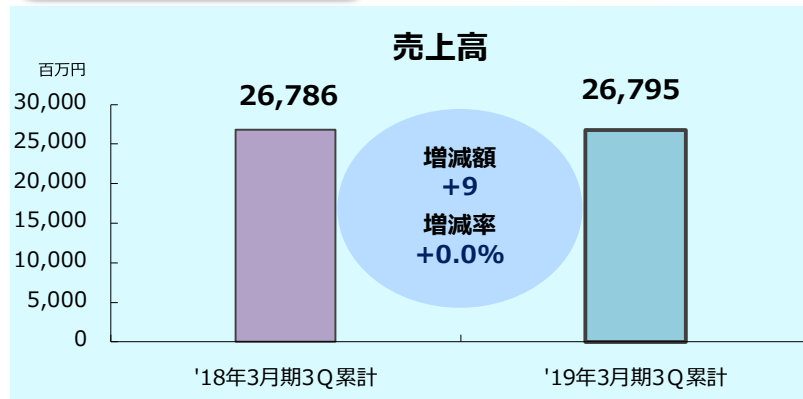
1. 2019年3月期 第3四半期決算概要

2. 2019年3月期 連結業績予想

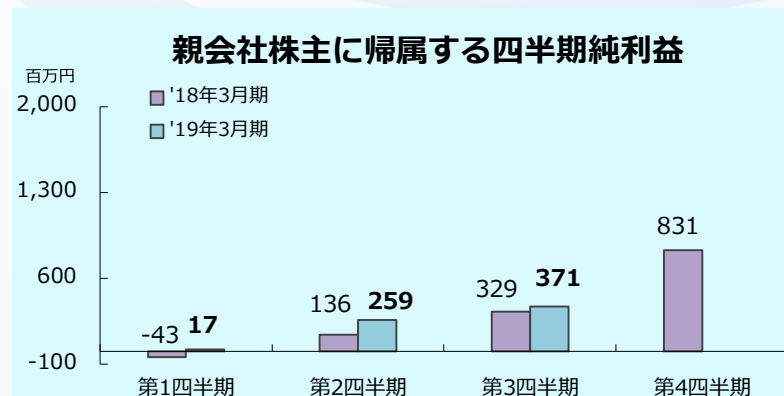
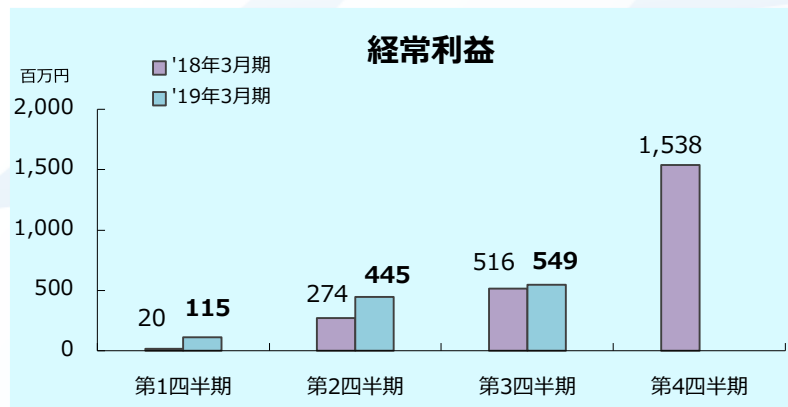
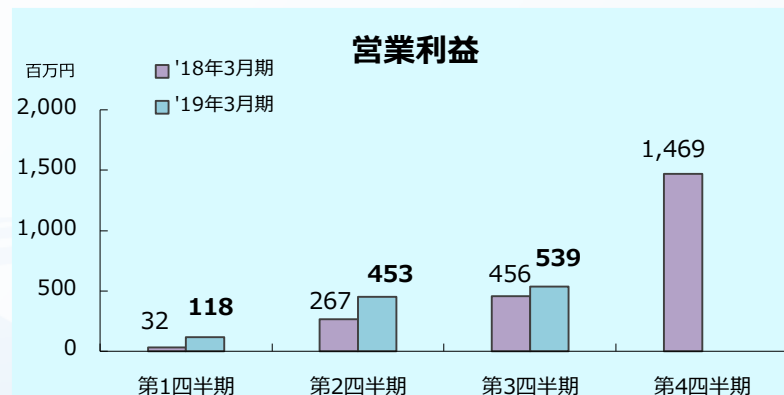
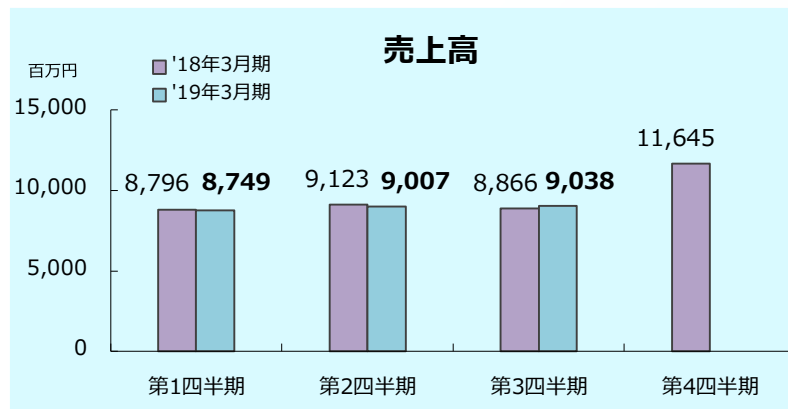
3. 補足資料

2019年3月期 連結業績（3Q累計）

前年同期比



前年同期比



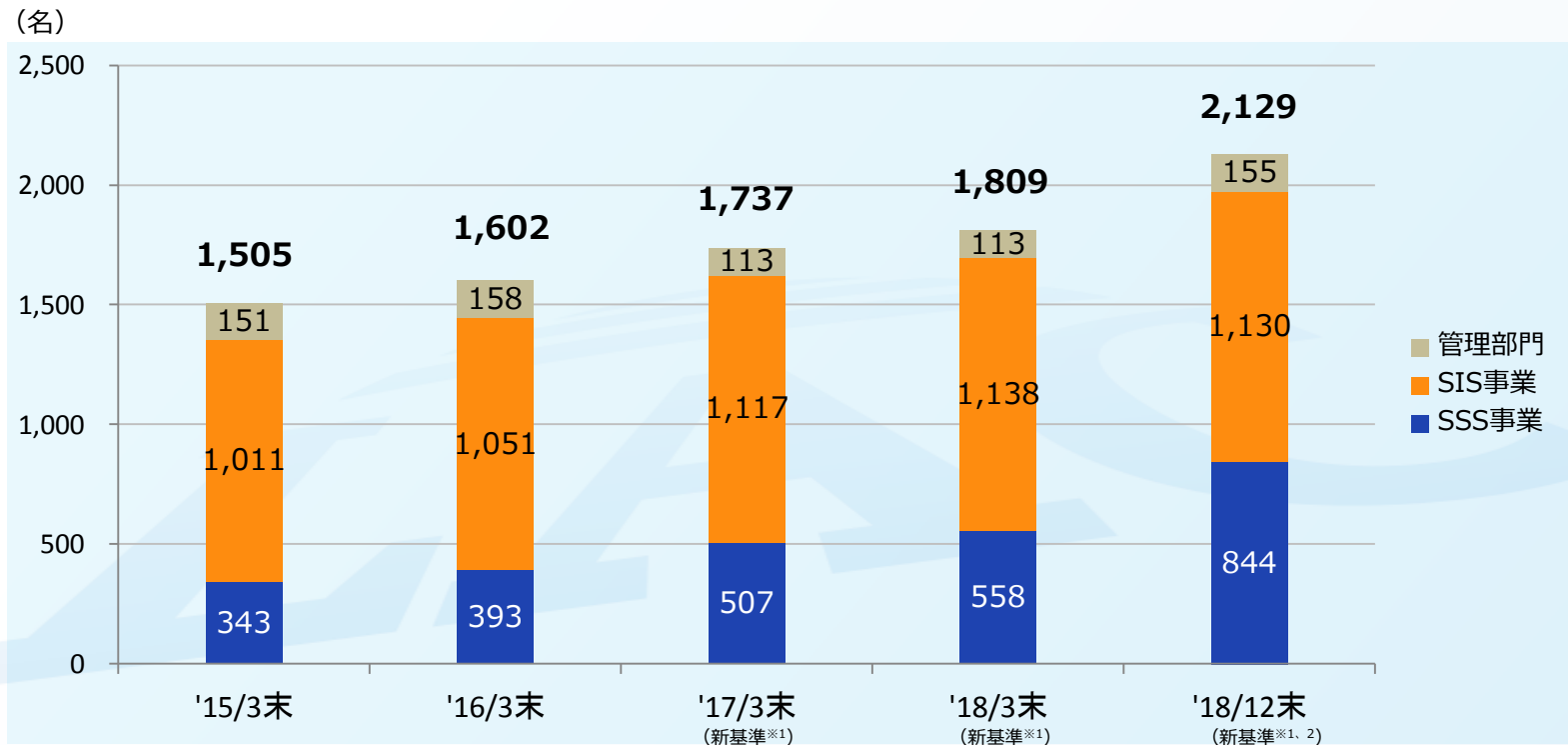
2019年3月期 セグメント別業績（3Q累計）

前年同期比

（百万円）

売上高	‘18年3月期		‘19年3月期		前年同期比	
	3Q累計実績	構成比%	3Q累計実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	8,425	31.5	10,401	38.8	+1,976	+23.5
セキュリティコンサルティングサービス	1,956	7.3	1,956	7.3	△0	△0.0
セキュリティ診断サービス	1,170	4.4	1,473	5.5	+303	+25.9
セキュリティ運用監視サービス	2,610	9.8	3,974	14.8	+1,363	+52.2
セキュリティ製品販売	1,753	6.5	2,052	7.7	+298	+17.0
セキュリティ保守サービス	933	3.5	945	3.5	+11	+1.2
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	18,361	68.5	16,393	61.2	△1,967	△10.7
開発サービス	10,888	40.7	10,401	38.9	△487	△4.5
HW／SW販売	2,860	10.7	1,417	5.3	△1,443	△50.5
IT保守サービス	3,539	13.2	3,523	13.1	△15	△0.4
ソリューションサービス	1,072	3.9	1,051	3.9	△21	△2.0
合計	26,786	100.0	26,795	100.0	+9	+0.0

連結従業員数の推移



※1 2018年3月期より、定年再雇用の増加や契約の長期化などを鑑み、契約社員を含めた基準に変更しています。加えて、主に管理部門において、関連する業務に沿った事業区分に見直しています。なお、SSS、SISの両事業に携わる従業員について、稼動状況を踏まえた区分としております。
2017年3月末の人員数は同基準により遡及して算出していますが、2016年3月末以前については従来基準の従業員数となっています。

※2 2018年12月末のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した株式会社アジアリンクの従業員が含まれています。

■ IoTセキュリティ診断サービス開始（2018年5月）

工場やオフィスなどで導入が進んでいる多種多様なIoT機器に対し、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークに至るまで総合的な脆弱性診断を実施。

主な特徴

- ・ IoT機器の動作環境に応じ、最適な診断項目を選択
- ・ ラック独自の最新のIoTセキュリティ情報を活用した診断手法
- ・ 各種IoTセキュリティガイドに適応したセキュリティレベルを確保

■ シンガポール支店を設立（2018年7月）

ASEAN地域で成長を目指す日系企業の事業展開を、セキュリティ対策で支援する起点として開設。

名 称	株式会社ラック シンガポール支店
所 在 地	80 Robinson Road #10-01A Singapore 068898
開 設 日	2018年7月1日
業務内容	ASEAN地域でのサイバーセキュリティサービスの提供

■ 脅威情報(スレットインテリジェンス)提供サービスを開始 (2018年8月)

セキュリティ監視、マルウェア分析、技術研究の3つの精鋭部門における膨大な知見をまとめてデータベース化し、独自の脅威情報「JLIST」として提供。

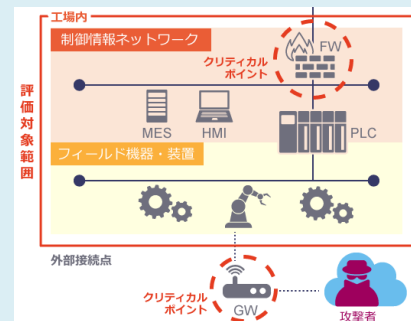
これにより、最新の脅威や日本特有のサイバー攻撃の脅威に対し、市販のセキュリティ対策製品の防御能力を飛躍的に向上。



■ 産業制御システム向けリスクアセスメントサービスを開始 (2018年8月)

工場におけるネットワーク化された制御系システムに対し、サイバーセキュリティリスクを総合評価。

不正アクセスやウイルス感染等による機器の誤動作や工場の稼働停止など産業制御システム特有のセキュリティリスクに最適な対策を講じることができ、ネットワーク化された工場の安全に貢献。



■ ラックを代表する監視サービス「JSOC®」にサイバー保険を付帯（2018年10月）

ラックを代表するセキュリティ監視サービス「JSOC® マネージド・セキュリティ・サービス」にサイバー保険を付帯した国内初のパッケージ商品、『事故補償パック for JSOC』の提供を開始。

サイバー攻撃への「守り」と「備え」を一体で提供。



■ 低価格な監視サービスを実現する「CloudFalcon」を提供（2018年10月）

セキュリティアナリストによる高度な監視サービス「JSOC® マネージド・セキュリティ・サービス」のノウハウを投入した、自動セキュリティ監視システム「CloudFalcon（クラウドファルコン）」を新規開発し提供を開始。

専門のセキュリティアナリストの判断を要せずに、高度で高品質なセキュリティ監視ができ、クラウド上でシステム稼働させることにより費用・運用負荷の大幅低減も実現。

■ セキュリティ調査ツール「FalconNest」を無料公開（2018年11月）

企業のセキュリティ対応部門が独自にサイバー攻撃の痕跡確認やマルウェアの判定を手軽に行える「FalconNest（ファルコンネスト）」を無料公開。

セキュリティ侵害とマルウェアの判定をクラウドで提供。



■ 「ラックテクノセンター北九州」を開設（2019年1月）

セキュリティ事業における地域の技術拠点となる「ラックテクノセンター」を北九州市に開設。

主にセキュリティ監視センター「JSOC®」の基幹システム「LAC Falcon®」の開発および保守機能の一部を担う。北九州地域の人材採用を拡大し、セキュリティ技術者の育成を計画。

名 称	ラックテクノセンター北九州
所 在 地	福岡県北九州市小倉北区
面 積	約308㎡（約93坪）
開 設 日	2019年1月
運営開始日	2019年4月（予定）
従業員数	15名（2019年4月時点予定）



- ※ 本資料は2019年2月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー

Tel 03-6757-0107 Fax 03-6757-0101

ir@lac.co.jp

www.lac.co.jp